

ミシラン2007発表

ズバツと比較！ DVとFMとSSBの移動体無線機としての一長一短
 前提：友達に勧めたあとで金返せと言われない評価。430MHz 20W車載機。

(特別寄稿)

作成：別冊CQ ham radioエディタ

		D-STAR DV	アナログ FM(含むナロー)	SSB	備 考
一 般 的 性 能	帯域幅	6.5kHz	10kHz(5kHz)	3kHz	
	モード遊び	○	×(ありふれている)	△(伝搬実験などあり)	
	通信許容度				
	S9時(平常)	○	○※	○	※FMナローをワイドで受信すると変調が浅く聞こえる
	S1時(離時)	○復調できれば	△要訓練	○	
	音声忠実度	×人物特定難しい	○人物特定容易	△人物特定可	DVは声質による(浅めの変調が吉)
	音の違和感	○へろへろ感あり※	A有線電話程度	B音の強弱が顕著	※携帯電話で弱電波時の様
	伝搬特性	FMより短距離(複合)	B	A長距離向き	
	S/N(S9時として)	○	○	×	
	交信距離(S5範囲)				
	地方(距離約5km)	○	○	○	
	都市	マルチパスで不復調	QSBを生じるが交信OK	QSBを生じるが交信OK	
	長距離持続性	×	△粘れる	○ノイズレベルまで可能	
	S-3信号混信時	×不復調	△交信継続可能	△交信継続可能	
	対隣接信号	×不復調またはへろる	○交信継続可能	○交信継続可能	
	消費電力	大	中	小	
	リグ低価格	4万円台	3万円台	7万円台	
	車載機種	2機種	10機種以上	2機種	弁当箱型
	リグの完成度	発展途上	成熟	成熟	
	チューニング操作	○10kHzステップ	○20または10kHzステップ	×微調整が必要	
操作の熟練性	不要	不要	必要		
緊急時の優位性	×利用者少	○利用者多い	△利用者やや多い		
専用交信の優位性	○受信者極小※	×受信者最多	×受信者やや多い	※所有者極小で聞かれにくい	
移動体度	×マルチパスでだめ	○QSBの影響あるがOK	○QSBの影響あるがOK		

実用性	マルチパス影響	×	○(QSBを感じる)	○(QSBを感じる)	
	レピーター数	約10局	約200局	0	
	地方での実用度	×	○	△局が少ないがエリア広い	例：東北DVレピーター仙台市内2局
	ネット接続	P2P	1:n	なし	
	設定・操作性	×複雑(レピーター使用時)	○	△	
	汎用性				
	アマ	×個人開拓不可能	△	△	
	プロ	○	×FMは秘話をしにくい	×要チューニング	
	VoIP	標準(レピーター経由)	EchoLink,Wiresなど有	なし	FMはノードの任意設置可能
実験的視点	自作	FMより無理	大変	大変	
	将来性	○※	×成熟	△チャンネル化に期待	有れば10年後が楽しみ
	プロ秘話化の可能性	容易かも(コーデック次第)	要ボイス変換器※	要ボイス変換器※	製品あり
	データの付加	○重畳OK	△要TNC(時分割)	×要TNC(時分割)	
	伝搬実験の楽しさ	○(未開拓領域に均しい)	×(すでに実施済み)	×(すでに実施済み)	
お勧め度					
	新趣味性	○	×	△	
	実用性	×	○	×	
	緊急時性	×	○	△	同報通信の確保がDVでは困難(普及度低い)
	交信相手	×	○	△	
	Cさん	×	○		
	Aさん	×	○	△	FMナロー普及途上, SSBも面白いかも

インプレッション評(アマチュア無線)

HFが好きになっちゃった復活組。DVリグを 購入するも、イマイチ、イマニ...	うーん、あのへろへろ音がどーにかならないものか……。S/Nは確かにいいが、FMみたいこ「どーもー！」って言われてもディスプレイをみないと呼んでくれた相手が知人か自信が持てない。へろへろしちゃうスレッショルドを変えるのはできないけど、現状のシステムのまま、音質向上のための遊びっていうのもいいかな。きつと忠実度のいいマイクを、イコライザーで“秘技！へろへろ返し！”ができるんじゃないかなって思う。
下から上までまんべんなくチャンネルを持ち、 デムバ遊びに精通	音声・データ通信のツールはFMが吉。 DVは伝搬実験やデジタルの実験を楽しめるが、FMに置き変えるには音質の絶大な改善が必要と思う。 狭帯域化はSSBが優位(DSPで自動チューンするなど期待)。業務的には秘話が可能なDVに優位性あり(ハムで秘話禁止事項)
分解ライダー。どんな最新鋭機もこの手に かかれば、一瞬で丸裸にされる！	

文責:I.U.K(3名)